

## まえがき

現代は、あらゆる物と情報が数多く存在します。昔のように物や情報が少ない時代とは比べものにならないほど、物と情報に恵まれている環境があると思います。

一方で物や情報が多いばかりに、本来、自分自身が本当に何に興味があるのか。何が充実しているのか。自分自身はどうしたいのか。自分自身の人生をどのように歩んでいきたいのか。真剣に考える機会がないと感じています。

通常であれば、幼い頃から大人になっていく中で、人が社会に出てから人生をどのように全うし、歩んでいくべきかを教えられ考える時間という教育の機会があっても良いように思います。しかし、残念ながらそのような機会は、いまの日本には公に存在しないと感じています。

また人間は、みんな自分へのエゴの為だけに生きてるように思います。したがって、子育て、学校教育、社会人教育のすべてについても、全力で相手のことを常に考えた接し方ができているか疑問に思います。基本的に人は、自分が思うようにしたいと思っただけです。私も含め、人間は自分が一番かわいい生き物であるから仕方がないと思います。

しかし、自分へのエゴがあり、自分を一番かわいと思うわりには、自分自身に納得や満足のいく人生の歩み方がしつかりとできていないようにも思います。またその為に必要な行動をがむしゃらに行っていないようにも思います。

自分自身に充実がなければ、より一層のこと、相手を全力で思いやり考える余裕は、当然に生まれるはずがないと考えています。

こうした社会の中で、まずは一番に自分自身の人生を考え抜き、自らが自身の人生にどのように向き合っていけば良いかを考える、少しでも良いきっかけになればと思います、本書

を記すことにしました。

昨今、沢山の情報や悩みが集う社会の中で、今一度、自分自身の人生を有意義にするきっかけになって頂けたら幸いと思います。

山崎 雄一